

塩害(海岸、融雪剤散布)地域など厳しい環境下で威力を発揮!

SGめっきとは、通常の溶融亜鉛めっきに5%アルミニウム、1%マグネシウムを加えた溶融亜鉛合金めっきです。
この処理によって通常の溶融亜鉛めっきと比べ、はるかに強い耐蝕性が得られ、過酷な腐蝕環境での使用に最適です。

1 耐蝕性が抜群に高い

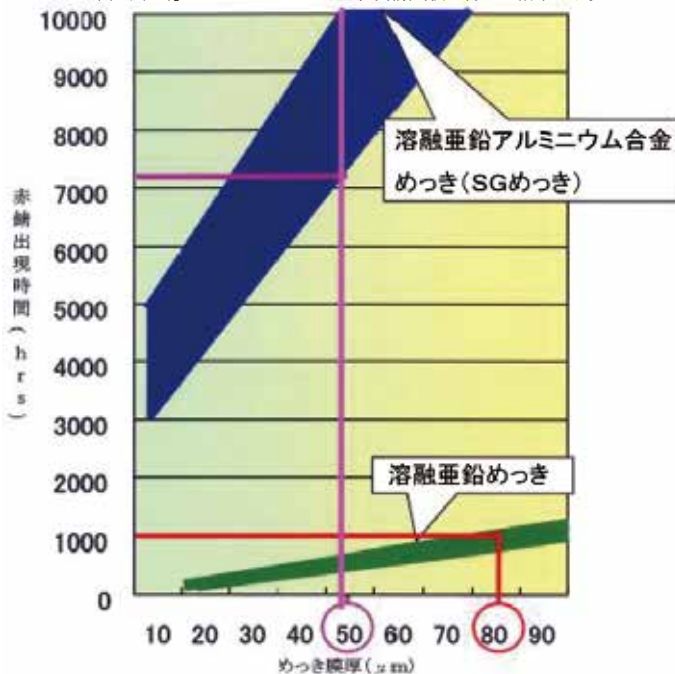
塩水噴霧試験において、通常溶融亜鉛めっきの約7~10倍の耐蝕性。
暴露試験において、通常の溶融亜鉛めっきの約2~6倍の耐用年数。

特に塩害に強く、沿岸部、融雪剤を使用する道路付近の
スチールグレーチング等の防錆に最適。

- 溶融亜鉛めっき(JIS H 8641)の付着量の最高規格はHDZ55です。
HDZ55をめっき膜厚(μ)にすると・・・
HDZ55 = 550g/m² = 550g/m² ÷ 亜鉛の比重(7.2g/cm³)
= 76.3μ/片面 (右記表は分かりやすいように80μで示しています)
- SGめっきの特性上めっき膜厚が溶融亜鉛めっきに比べ、薄膜厚となる為、SGめっきの膜厚規格は50μ/片面(350g/m²相当)としています。
※付着量差は素材の成分及び製鋼方法によってもバラツキが
あります。この事により、
当社では50μ以上の規格は採用しておりません。

めっき被膜の特性

下記表は、JIS Z 2371に基づく塩水噴霧試験を行った結果です。



縦軸は赤錆が発生する時間、横軸はめっき被膜を表しています。

2 色調

光沢・色むらが無く、落ち着いた色になります。

めっき初期



5年経過



3 環境に優しい表面処理

高純度亜鉛使用 JIS H 2107

SGめっきグレーチングの画像

左: SGめっき

右: 溶融亜鉛めっき

